

一般廃棄物処理施設 附帯施設整備

基本構想

平成30年12月

四街道市

目 次

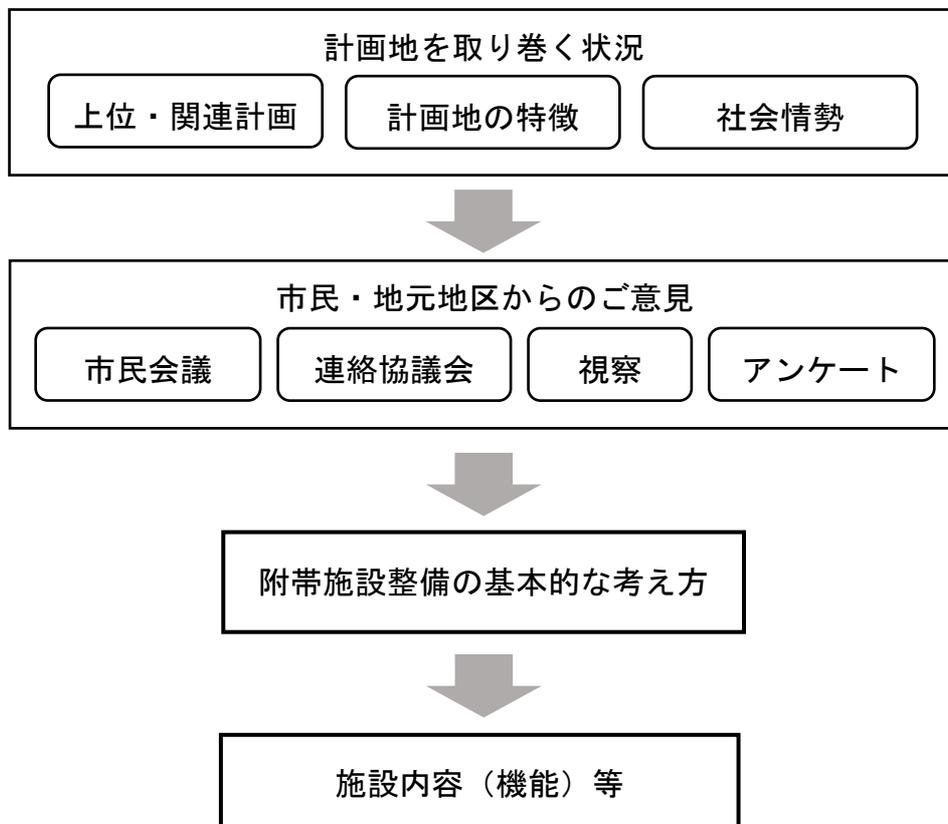
1. はじめに	1
2. 計画地を取り巻く状況	2
3. 市民・地元地区のご意見	3
4. 附帯施設整備の基本的な考え方	5
5. 施設内容（機能）の想定	6
6. 位置	8
7. 事業スケジュール案	9

1. はじめに

四街道市（以下、「本市」という。）では、平成4年度に四街道市クリーンセンターを稼働し、これまで機能維持を図りながら事故や公害等の問題を生じることなく、安定的・持続的なごみ処理を継続してきました。しかしながら、施設の老朽化や様々な財政負担を考慮し、早急に次期ごみ処理施設の建設が必要となっています。現在、吉岡区内において次期ごみ処理施設の整備を進めています。

一方、次期ごみ処理施設の整備にあたり、焼却施設から発生する熱エネルギーの有効活用を図るため、附帯施設整備の検討も進めています。

計画地を取り巻く状況やこれまでの市民・地元地区からのご意見を踏まえ、今般、附帯施設整備の方向性を示すものとして、「一般廃棄物処理施設附帯施設整備基本構想」（以下、「基本構想」という。）をとりまとめました。



2. 計画地を取り巻く状況

■上位・関連計画

上位・関連計画として主に次の計画が挙げられます。基本構想は、これらの計画と整合性を図った内容としました。

- 四街道市総合計画
- 四街道市環境基本計画
- 四街道市一般廃棄物処理基本計画
- 四街道市一般廃棄物処理施設整備基本計画
- 四街道市公共施設等総合管理計画 など

■計画地の特徴

- 次期ごみ処理施設及び附帯施設は、国道 51 号と市道吉岡 4 号線に挟まれた約 5.45ha の敷地に建設予定です。将来、4 車線化を予定している国道 51 号に接した好立地となっています。
- 四街道駅から約 4km に位置します。周辺には、民家のほか、農地や山林が広がっています。
- 近隣の公共施設として、半径 2km 圏内に四街道総合公園があり、運動施設を中心としたものとなっています。また、近隣にはコンビニエンスストア以外に、買い物ができる場所がありません。なお、近隣の成台中地域では土地区画整理事業が進められています。

■社会情勢

- 四街道市の総人口は現在約 9 万人で増加傾向にありますが、生産年齢人口（15 歳以上 64 歳以下の人）は減少傾向にあり、高齢化が進行しています。
- 高齢化が進む中、健康に対する関心が高まっています。

3. 市民・地元地区のご意見

■市民会議（平成 29 年 11 月実施）

平成 29 年 11 月に開催した「(仮称) 新クリーンセンター附帯施設等基本構想検討市民会議」では、テーマとして附帯施設を取り上げました。会議において、次のような意見が出されました。

- ・ 「市民の交流拠点づくり」というのは良い方向性
- ・ 高齢者の引き込み対策としての憩いの場づくり
- ・ 市民の健康づくりの拠点としてもらいたい
- ・ 温浴施設や食事ができる施設などを設けてもらいたい など

■次期ごみ処理施設建設等に関する連絡協議会（平成 28 年 2 月～）

地元地区と市との協議窓口である「次期ごみ処理施設建設等に関する連絡協議会」（以下、「連絡協議会」という。）が、平成 28 年 2 月に発足し、概ね月 1 回の頻度で会議が開催されています。連絡協議会では、地域振興事業等を含む次期ごみ処理施設の建設に向けた協議を進めており、施設建設事業に関しては、ごみ処理施設や附帯施設の先進地視察、アンケート調査などを実施しています。

附帯施設に関しては、次のような意見が出されました。

- ・ 吉岡区の活性化や賑わいに寄与する施設
- ・ 若い人が集まるような魅力的な施設
- ・ 余熱を利用した温浴施設
- ・ 市民や吉岡区民が利用できる交流スペース
- ・ 健康増進器具を置いたスペース
- ・ 吉岡区民も出品できる農産品等の直売コーナー
- ・ 吉岡区民の雇用機会の創出 など

■先進地視察（平成 29 年 10 月・12 月実施）

施設の規模や機能の参考にするため、連絡協議会として、近隣の先進事例（次の 2 施設）を視察しました。

○下花輪福祉会館 ほっとプラザ下花輪（流山市）

延床面積：799 m²

施設内容：浴室、多目的集会室、会議室、和室、ふるさとコーナー等

開設年月：平成 18 年 4 月

○東金市外三市町清掃組合 福利厚生施設（東金市）

延床面積：415 m²

施設内容：内風呂、露天風呂、休息室（40 畳）等

開設年月：平成 14 年 4 月

■吉岡区アンケート調査の実施（平成 29 年 12 月実施）

吉岡区において附帯施設に関する意向調査を実施しました。結果の概要は次のとおりです。

○施設の重要度：1 位 余熱利用施設（温浴施設等）

○来訪予定頻度：1 位 農産物等直売コーナー（半数が週に数回以上）

○その他施設の提案

- ・公園、多目的広場、アスレチック、テニスコート、ゲートボール場
- ・食事が出る施設
- ・余熱を利用した農業ハウス（トロピカルフルーツ） など

4. 附帯施設整備の基本的な考え方

基本的な考え方として、「整備コンセプト」及び「整備基本方針」を次のように定めます。

～附帯施設の整備コンセプト～
市民の交流拠点づくり



- 基本方針1（利用対象者の考え方）
多くの市民が交流する、にぎわいと活力にあふれた交流の場を創造します。
- 基本方針2（地域活性化についての考え方）
国道に面した立地を活かし、地域活性化に資する施設とします。
- 基本方針3（運営についての考え方）
市民や民間が関わることができる、運営形態を目指します。
- 基本方針4（財政面の考え方）
市の財政を考慮し、適切な利用料や運営形態を設定します。
- 基本方針5（環境負荷低減についての考え方）
余熱を有効に活用し、低炭素社会の実現に貢献します。
- 基本方針6（地域との調和についての考え方）
敷地形状等を活かして建物や緑を配し、周辺環境と調和した施設とします。

5. 施設内容（機能）の想定

「市民の交流拠点づくり」という整備コンセプトのもと、施設内容は、市民の心身の健康づくりに寄与する機能を想定しています。また、国道に面した好立地を活かし、地域活性化のための拠点として活用していきます。

想定している施設（機能）は、次のとおりです。

●温浴施設

ごみ処理施設の余熱を利用した温浴施設です。周辺住民をはじめ市民の日々の健康づくりや憩いの場としての利用を想定しています。交流拠点として核となる機能といえます。



下花輪福祉会館 浴室（流山市）



秦野市伊勢原市環境衛生組合
名水はだの富士見の湯 浴室（秦野市）

●交流スペース（多目的室）

お風呂上がりにゆっくりくつろいだり、市民同士で気軽に集い、交流できるようなスペースです。



下花輪福祉会館 休憩コーナー（流山市）



秦野市伊勢原市環境衛生組合
名水はだの富士見の湯 休憩室（秦野市）

●健康増進スペース（フィットネス・ランニングマシン等）

フィットネス・ランニングマシン等を設置したスペースです。



リフレッシュプラザ柏 トレーニングルーム（柏市）



事例イメージ

●農産品等直売コーナー

新鮮な野菜や地元の特産品などを販売するスペースです。



下花輪福祉会館 ふるさとコーナー（流山市）



下田農業ふれあい館（千葉市）

●その他

屋外活動スペースや駐車場、緑地等、屋外空間も合わせて整備します。想定される施設規模の範囲で、適正な機能を配置する予定です。なお、この他の施設の併設は今後の検討課題とします。

また、施設運営においては、市民や民間が関わることができる運営形態を目指します。



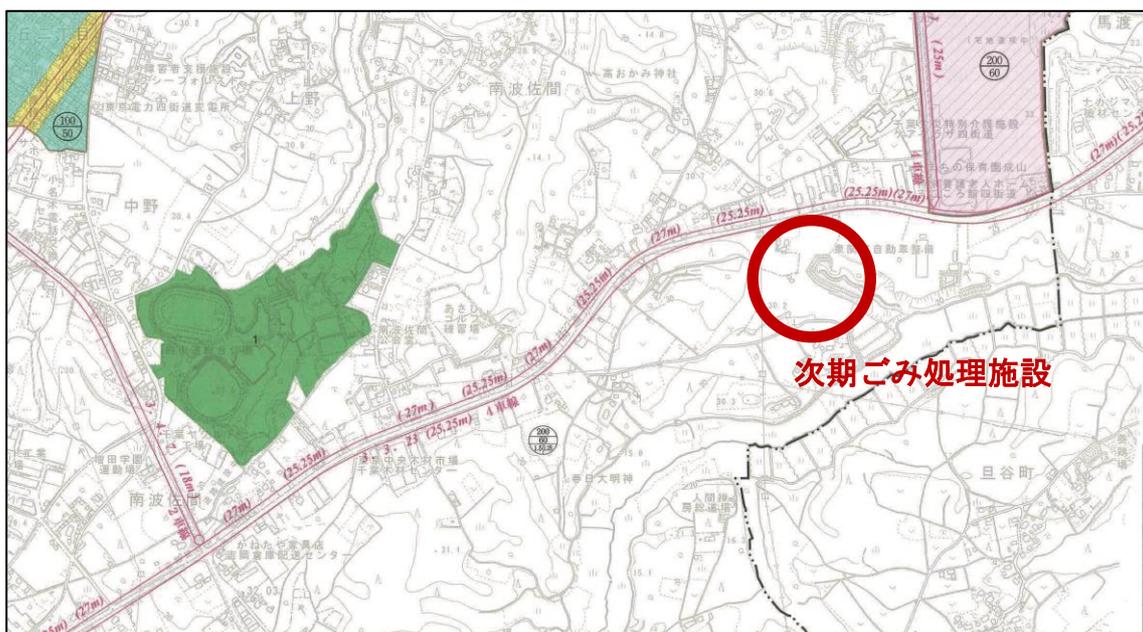
6. 位置

次期ごみ処理施設及び附帯施設は、四街道市吉岡 677 番 1 他に建設予定です。

【位置図】



【位置図（都市計画図）】



7. 事業スケジュール案

附帯施設は、今後、基本構想を基に適切な事業方法・運営方法等を検討し、事業化に向けた準備作業を行う予定です。

これらの検討に基づき、事業の具体化を図ることになります。